

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

11 月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



11/23(日)
観察会開催
参加者受付中！

「オオキンカメモシ キンカメモシ科」
体長 19-26mm。アブラギリで繁殖し
海岸の常緑広葉樹で集団越冬する。
駒ヶ崎でたくさん見る事が出来る。



「モズ♂ モズ科」
留鳥。全長 20cm。長い尾羽と黒い
過眼線が特徴。鋭い口ばしで昆虫
やカエルなど小動物を食べる。



「ジョウビタキ♂ ヒタキ科」
冬鳥。全長 14cm。背中白い斑
点の特徴。「ヒッヒッ」とさか
んに縄張り宣言の音を出す。



☆「ノブドウ ナドウ科」☆
落葉つる性の木本。果実はカラ
フルだが食べられない。観賞目的
で園芸植物として栽培されることも。



☆「センニンソウ キンボウゲ科」☆
常緑つる性の半低木。果実につく
白くて長い羽毛状の花柱を仙人のひげ
に見立ててその名が付いた。



☆「ヘクソカズラ アカネ科」☆
道端や藪など至る所に生えるつる
性の多年草。果実は長持ちする為、
クリスマスリースなど飾りにも最適。



☆「タンキリマメ マメ科」☆
海岸近くの林縁に多いつる性の多
年草。種子は黒色で光沢があり、
さやの縁にぶらさがっている。



☆「ヤマノイモ ヤマノイモ科」☆
林縁などに生えるつる性の多年草。
日本原産で別名「自然薯」。葉の基
部にムカゴが付くのが特徴。



☆「ヨシノアザミ キク科」☆
和名は地名ではなく植物学者 吉
野善介氏を記念して名付けられた。
花数が多いのが特徴。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

この時期ならではの鳥や昆虫、花や木の実などがたくさん見られます。

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2025 年 11 月前半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

秋版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台

千尋の浜

(上地の浜)

松尾展望広場

外の取



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段



灯台まであと4分

木のすき間から浜が見えます。

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマエ
トベラ

木のすき間から
海が見えます。

南紀勝浦
休暇村

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

キアシシギ
ソリハシシギ
コチドリ

ヤブツバキ

マテバシイ

ウバメガシ

ヤマモモ

至休暇村

トベラ

ビジター
センター

アキグミ

ヤブツバキ

上野展望台

防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ヤマモモ

モチノキ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

エンビタキ・コゲラ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

ツツブキ

クスノキ

スタジイ

タイミンチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

オオキンカメムシ

タフノキ

シロダモ

ツツブキ

アオノクマタケラン

ヒサカキ

カラスザンショウ

エンビタキ・コゲラ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

ツツブキ

クスノキ

スタジイ

タイミンチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

オオキンカメムシ

タフノキ

シロダモ

ツツブキ

アオノクマタケラン

ヒサカキ

カラスザンショウ

エンビタキ・コゲラ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

ツツブキ

クスノキ

スタジイ

タイミンチバナ